

## \*データのご利用にあたって

- ・データポリシー JAMSTEC
- ・データ責任者 情報管理部署
- ・データの利用制限 データ利用の制限については 注意事項 をご参照ください。
- ・引用方法 データの引用については 注意事項 をご参照ください。

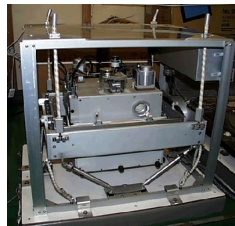
## 品質

Raw

## 観測機器

機器名

船上重力計



可搬型相対重力計 (MR11-06 - )



## 計測装置

## 1) 船上重力計システム

システムはジャイロ安定台に取り付けた重力センサ部とデータ処理・収録部で構成されている。

- メーカー： LaCoste & Romberg
- 型式： S-116
- 計測範囲： 12,000 mGal
- 測定精度： 1.0 mGal
- ドリフト量： < 3.0mGal/month
- 設置場所： 重力計室
- 参考資料： 「Model "S" Air-Sea Dynamic Gravity Meter System II」 INSTRUCTION MANUAL LaCoste and Romberg Gravity Meters, Inc. 2004

## 2) 可搬型相対重力計

可搬型相対重力計は、データ処理・収録部と真空恒温槽の中に収納された重力センサ部で構成されている。国土地理院が設置している日本重力基準網の重力基準点の絶対重力値を参照して、着岸中に港の絶対重力値を求めるために使用される。

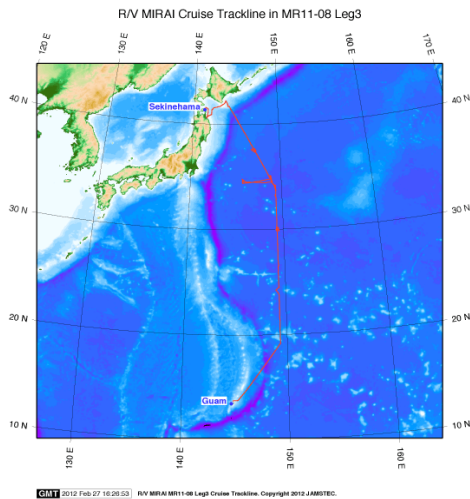
- メーカー： SCINTREX
- 型式： CG-5
- 計測範囲： 8,000 mGal
- 標準偏差： 0.005 mGal
- ドリフト量： < 0.02 mGal/day
- 参考資料： 「CG-5 OPERATION MANUAL」, SCINTREX

## このデータについて

「みらい」海上重力データの一部において、絶対重力値への変換が正常に処理されていないことを確認しました。本航海でも不適切な処理がされておりましたが、2024年3月にデータを精査した結果、機器異常等のため、このデータについては処理を行わないことにしました。

Rawデータの提供を希望される方は「[dmo@jamstec.go.jp](mailto:dmo@jamstec.go.jp)」にお問い合わせください。

## 関連情報



### MR11-08 Leg3

船舶名： みらい  
期間： 2012/01/12 - 2012/02/09  
主席/首席： 熊本 雄一郎（海洋研究開発機構）  
プロジェクト名： [WOCE再観測]  
課題名： 海洋大循環による熱・物質輸送とその変動についての研究

海洋大循環解明のための新規化学トレーサーの検証

海面乱流フラックスの連続測定

海洋上における水安定同位体分布図作成の為に降水・水蒸気・海水採取

エアロゾル・雲の光学特性と鉛直分布の観測

船舶型スカイラジオメーター観測から得られる海洋上のエアロゾルの光学的特性

MAX-DOAS等による対流圏エアロゾル・ガス成分船上観測

Argoフロートを用いた太平洋・インド洋における海洋循環、熱・淡水輸送とそれらの変動の研究および西部北太平洋における物理・化学・生物過程の実験的総合研究

海洋地球物理観測データの標準化及び海洋底ダイナミクスへの応用に関する研究

海洋上での雲のグローバル分布と構造の研究

同位体を用いた海洋生物関連温暖化気体の物質循環解析

東北沖海況場および放射能汚染水の分布に関するモデル-観測比較研究

西部太平洋域における放射性物質の大気輸送および海洋への沈着量に関するモデル-観測比較研究

東北地方太平洋沖地震によるプレート応力場の改編に伴う火山活動の可能性を探る

動物プランクトン群集における人工放射性核種濃度の水平変化

北太平洋における人工放射性核種の濃度分布について

西部北太平洋における放射性ヨウ素-129の循環と蓄積に関する研究

## Gravity Corrected フォーマット

No.	カラム	項目	表示書式	単位	備考
1	1 - 8	日付	i4,i2,i2		YYYYMMDD (UTC)
2	10 - 15	時刻	i2,i2,i2		hhmmss (UTC)
3	17 -25	緯度	f9.5	度	南緯は-マイナスで表記
4	27 -36	経度	f10.5	度	西経は-マイナスで表記
5	38 -45	絶対重力値	f8.1	mGal	
6	48 -53	フリーエア異常値	f6.1	mGal	